

# 佐波川アニバーサリープロジェクト(上右田堰を紹介)

佐波川の中流部において、金波堰と峪堰を統廃合する上右田堰が平成19年度に完成しました。完成から10年目の平成29年11月5日(日)に、新橋地区において「遊々かわフェスタ'17」の開催(来場者約3,500人)に合わせて上右田堰改築事業や佐波川の歴史、佐波川の生き物などを紹介しました。



メイン会場の状況

## 職員による事業効果等の説明状況



## 上右田堰改築事業の説明パネル

**■新峪堰(上右田堰)の建設 1/2**

■洪水による宅地被害の防止を図るためには、底下水力の確保が必要  
 ■当該地区においては、底下水力確保のための底下水路の整備が必要となる『固定堰の撤去』が必要

【目的・事業性】  
 ＊降雨時、約60haの農地へ灌漑用水を取水するために、昭和28年に設置された農業用取水堰  
 ＊金波堰は、約130haの農地へ灌漑用水を取水するために、昭和40年に設置された農業用取水堰  
 ＊両堰は、固定堰であるため灌漑管理が難しく、底下水力向上のために緊急的な対策が必要  
 ＊両堰は固定堰のため、出水時に堰上げにより農地地区では浸水被害が発生  
 ＊両農地地区は、河川堤防も低いため現在上流側から築堤工事を実施中

■この2つの固定堰により洪水時の水位を『引き上げ』ることで、堤防の決壊等が発生した場合、右岸側の新橋市街地や、上流の農地地区に浸水被害をもたらす危険性

**対応策として、給堰、金波堰を撤去し新給堰(2堰を統合)を新設**

**■新給堰(上右田堰)の建設 2/2**

■底下水路確保の原因となっている『給堰』、『金波堰』を撤去し、2堰を統合し『新給堰(上右田堰)』を新設

【基本概要】  
 ■堰 形式 堰高 B=35.6m x H=3.15m x 3門  
 堰底起点 堰底 B=1.6m x 2欄柵(魚道)  
 ■計画洪水流量 2.90m³/s  
 ■全体事業費 約50億円  
 ■工 期 平成15年度～平成19年度(5年間)

■新給堰(上右田堰)の断面図

右岸 新給堰(上右田堰) 左岸 アイスバーバー式魚道

**■明治以降の治水事業(上右田堰の改築に伴う平成21年出水時の効果)**

●明治以降の治水事業(上右田堰の改築に伴う平成21年出水時の効果) 国土交通省

●平成21年出水時の効果(上右田堰の改築に伴う平成21年出水時の効果) 国土交通省

●平成21年出水時の効果(上右田堰の改築に伴う平成21年出水時の効果) 国土交通省

佐波川水位により設定される洪水範囲